

事務事業名		競技スポーツ指導者育成事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民体育係		担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 競技スポーツの推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15071	一般	10	5	1	競技スポーツ指導者育成事業						
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業								
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～		年度	任意的事業・義務的事業		任意的事業				
	根拠法令 条例等	実施方法		直営								
	事業分類		人材育成事業									
	リーディングプロジェクト		該当									
市長マニフェスト		3-14										

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
生涯スポーツ指導者とは一線を画し、競技会や大会において活躍する選手の育成のため、競技力の向上を目的とした選手や指導者を育成するための研修会・講習会を実施する。 【H27 水と緑と万葉のまちづくり基金】から繰入			「はつらつママさんバレーボールin佐野」を開催。(自治総合センターと共催) 元全日本のバレーボール選手12名による講習・実技指導を実施。 H26. 5. 31～6. 1(佐野市民体育館) 5/31 指導者クリニック (参加者:64人) 6/1 バレーボール教室(参加者:129人)							
			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
実施回数			回	-	1	1	2	2		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
人口			人	-	122,582	121,522				
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民1スポーツの推進とスポーツを通じて健康・体力の保持増進を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
関東・全国大会等に出場する個人や団体			組	-	98	100	120	120		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
資質向上を望む選手の技術、体力などの能力が向上している。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
県大会で入賞した個人及び団体の数			組		240	250	260	270		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円		100	10							
	一般財源	千円		459	585	1,129	1,129					
	事業費計(A)	千円	0	559	595	1,129	1,129					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
					交付金	559	需用費	55	需用費	49	需用費	49
							委託料	540	委託料	1,080	委託料	1,080
人件費	人	0	5	5	5	5						
のべ業務時間	時間	0	160	150	150	150						
人件費計(B)	千円	0	631	591	591	591						
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,190	1,186	1,720	1,720						

事務事業名	競技スポーツ指導者育成事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民体育係
-------	---------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	スポーツを軸としたまちづくりの推進のために、スポーツ競技大会で活躍できる本市の選手育成を推進することを目的とした事業を展開する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成34年に栃木国体の開催が予定され、県全体での競技力向上が急務となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	競技力の高い選手を育成することは、市民の一体感を醸成する。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びつく	理由・改善案	競技会で活躍できるようなレベルの高いスポーツ選手の育成という施策に合致する
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民を対象とすることで幅広いスポーツ競技や人材の発掘・育成を可能となり、競技人口の増加にも繋がる。また、国体に向け県全体が競技力向上を進めていく中で、本市もその下支えをしていく責務がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民がスポーツというツールで健康増進するとともに、競技会等の各種大会で優秀な成績を残すことで向上心や地域の一体感を醸成する。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	トップアスリートの取組や考え方を体験することで、指導者としての知識が広がり選手育成に有益である。 継続的に開催することで、他種目の競技に関する事業が行うことができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 スポーツ指導者研修会開催事業 選手のみならず、指導者の資質向上も必要であることでは一致する。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最小限の事業・人件費で行っているため削減の余地はない。参加賞の削減、ボランティアによる運営協力者の確保は困難である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	体育協会各支部をととして市民全体に参加を促す大会であり、受益者負担はふさわしくない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	競技スポーツにおいて結果を求めなくなったときであるが、現実にはありえない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 事業メニューを今後検討し体系的に進めていく必要がある。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	・専門的分野なので、関係団体と連絡を密にして要望に応える必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					